

2010年9月

2010年 東京大学教養学部 夏学期
全学ゼミナール「地球温暖化と経済学」講義感想文
(履修登録者 23名、合格者 14名、感想提出者 14名)

山口 光恒

1, 文科1類1年

高校時代から地球温暖化問題に興味があったのですが、授業を通して、環境経済の基礎に始まり、COP15の舞台裏まで、様々な側面から地球温暖化問題に触れることができ、非常に興味深い授業でした。ありがとうございました。

2, 文科1類1年

まず、たった今の率直な感想は、思うようなレポートが書けなかったことがとても悔しい。私は、環境問題に興味があるというよりも、むしろ国際関係・国際政治に興味があり、ある教授の勧めでこの講義を受講した。半年間、実際に国際交渉に携わってきた先生のもとで学べたことは非常に良い経験になった。地球温暖化問題は様々な(学問)分野が交錯した解決の難しい問題であるが、今回経済学という今までとは違った側面から考えることで、この問題に対して新たな見方ができるようになった。勿論、講義の内容は難しく理解が追い付かないこともあったが、1つのテーマについて少人数で深く学ぶという形式には、大変なやりがいを感じた。

先生がおっしゃったように、これから4年間の勉強を通じて、自分の意見を明確に持てる人間になりたいと強く願っている。

3, 文科2類1年

山口先生の授業を受けて、環境問題というのはただ単に環境を改善すればよいのではないということが分かりました。私たち人間のために環境を改善するのに、これをむやみに行ってしまうのは、逆効果になることもありうるということです。このようにならないための方の一つがまさに経済学です。だから、授業を通して、経済学の違った側面を知ることができたともいえるでしょう。また、先生の政府や海外での活動のお話をお聞きすることができるのも、この授業の魅力の一つです。普段とは異なる世界での出来事を聞くことは、自分がこれから何をしていくかを考える上でよい材料となりました。先生、ありがとうございました。冬学期もよろしくおねがいします。

4, 文科2類1年

地球温暖化問題と経済学の考え方の関係性が分かり、面白かったです。ただやみくもに

CO2の排出量を削減すればするだけ良いというのではなく、経済学的に適切な削減量をいかに求めていくかが大切である、その重要性について学べた点が良かったです。

5, 文科2類1年

まだ半年ですが、環境問題に関する理論的な背景に関しては理解が非常に進んだと思います。とくに経済学的分析に関してはミクロ経済学の授業を生かせることも多く、環境と経済という二分野間の理解が進んだと思います。また、ただ理論的説明に終わるのではなく、それが実際にどのような影響を及ぼしているのかを解説してくださったのは非常に理解に役立ちました。

6, 文科2類1年

排出権取引という言葉は聞いたことがありましたが、実施に際していろいろな問題があるということ考えたことが無かったので、とても勉強になりました。環境問題と経済発展を同時進行で考えていくことは、単純な話ではないということ、授業全体を通して学びました。自分ではまったく思いつかないような複雑なことが、一つ一つに関係していて、さまざまな機関が携わっていることを知りました。また、先生やお話をしに来てくださった政府の方たちから、政府や世界の最新の動向について知ることができて良かったです。特に、国際会議でのお話は、普段聞けないような話なので興味深かったです。難しい内容でしたが、自分で頭を使って考えることができ、とても有益な授業だったと思います。

7, 文科2類2年

1年の時に経済の授業でミクロ経済について勉強し社会現象を数学により解く議論に興味があり、地球温暖化問題に関しても関心を持っていたため、本講義を受講させていただきました。

この授業で扱った、環境経済学という学問はとても興味深かったです。税を取り入れるとどうなるか、排出権取引を取り入れるとどうなるかということを経済学の手法を用いて議論がなされてとても勉強になりました。気候変動枠組み条約に関して、今まで国際交渉の進展等を深く知らなかったため、各国は何を意図してどう動いてきたかやIPCCではどのような提言がなされているのかなど理解が深まりました。実際に官僚の交渉担当者の方が講義をされて、国際舞台や政策立案過程では何が起きているのか話を伺うことが出来て、とても有意義でした。夏学期ありがとうございました。

冬学期のディスカッション等の授業が楽しみです。夏休み中に自分で勉強してみようと思います。どうぞよろしくお願ひします。

8, 文科2類2年

1学期間ためになる講義をありがとうございました。この講義を受けたことで、日本・世

界の将来を考えるうえで大きな問題となっている地球温暖化対策において、1レベル上での知識を得ることができたと思う。また、先生が出張の際には、経済産業省で現在大きな役割を担っているような方のお話を聞くこともでき、たいへんためになる講義だったと感じた。

9, 文科3類1年

この授業を通して、理論と実際の政策の両面で、環境経済学を理解するきっかけをつくって頂いたと思います。理論面では、コストを考えなければならないといった話に始まり、直接規制・税・排出権取引・補助金・自主協定といったそれぞれの手法について、図を用いて分かりやすく説明して頂いたと思います。実際の政策の面では、IPCC などについての説明のほか、経済産業省の方からの貴重なお話も頂き、国際交渉の在り方などを知ることができました。学んだことを振り返りながら、新聞などで伝えられる世界の動向や、参考文献、今後の環境省・経済産業省の議論を通して、考えを深めていきたいと思います。その過程で、このレポートの欠陥が見えてくることも多々あると思いますが、授業と参考資料を通して考えたことをまとめる機会を得られてよかったと思います。ありがとうございました。

10, 理科1類1年

地球温暖化に興味があったのでこの講義をとりました。温暖化対策は太陽光発電など、技術的なことが向上すればそれで解決と考えている面もありましたが、この講義で最適な程度の対策を考えなくてはいけないと学びました。それが具体的にどの程度なのかは全く分かっていませんが、これからも考えていきたいです。ありがとうございました。

11, 理科1類1年

大学に入学して、経済学の手法を学びたいと思っていた。そこで、実践的に経済学の手法がどう用いられているのか知りたいと思い、また自然科学との関わりも深い題材として、「地球温暖化と経済学」のゼミを受講しようと思った。授業の内容は、経済学がどう実際に働いているのかを知ることができ、非常に興味深いものであった。また、授業を聞いているうちに、国際交渉の場でどのような思惑が働いているのか明らかになってきて、理念を実際に実行に移す難しさを体感することができた。冬学期では、自分の意見を持って主張をすることを行うので、東大という新たな場でどのような議論ができるか楽しみにしている。

12, 理科1類2年

進学振り分けでは理系学部への進学を決めていたので、前期課程のうちに経済学に関する

講義を聴講しようと思い履修した。初めの方は経済学と地球温暖化の基礎を学んだ。理系に関する知識があったために地球温暖化に関する説明においては疑問符が残る点があくつかあったが、経済学的考え方については初学者にもわかりやすく説明されていて非常にわかりやすかった。理論的なところばかりを学んだので、次は自らで経済学の実態を学んでみたいと思った。また、多方面からのゲストスピーカーも来ていて、将来のことを考えるきっかけにもなり非常に有意義な講義であった。

13, 理科2類1年

以前から漠然と「地球温暖化は金がどうかそういう次元の問題ではないはずだ。どうしてどの国も経済利潤を第一にして、対策を講じるのを遅らせているのか。」と疑問を感じており、金でしか動かない世界に対して不信感を持っていました。そのとき目に付いたのが山口先生の「地球温暖化と経済学」でした。講義の中で実際、自分の利益を最大化しようとするのは人間の本性であり、そうして世界も回っているということは頭では理解できたのですが、正直当初からの疑問に関しては釈然としませんでした。ただ、現場で交渉をなさっていた方が講義にいらっしゃったとき、私は非常に興味深い意見を聞くことができました。彼も経済利潤第一の各国の姿勢には疑問を感じつつも、その枠組みの中で最大限の結果を出そうと努力なさったそうです。私が抱いていた疑念は実際には意味のある疑念ではなく、問題から逃避する一つの言い訳だったのかなと思います。資本主義の中で解決しなければならない問題だということを再認識できた講義でした。

14, 理科2類1年

日本政府代表として、数多くの国際的な会議に出席されている山口先生の講義を受けることができ嬉しいです。また、会議の様子や国会の様子など講義の合間にされるお話も興味深かったです。

地球温暖化問題に興味がありこの講義を選択しましたが、経済学の観点から地球温暖化問題を考えることができ、今まで考えたことがないようなことも考え、さらに関心を持ちました。私は、理系ですが経済学を学んでみたいとも思いました。

冬学期のディベートで自分の意見を表現できるように努力したいです。